

平成 2 4 年 3 月 6 日
株式会社 山梨中央銀行

贈答品（ウエットティッシュ）に発生したカビの種類判明について

株式会社山梨中央銀行（頭取 進藤 中）は、本年2月10日、お客さまへの贈答品（ノベルティグッズ）として使用している「ウエットティッシュ」の一部における、カビの発生について公表いたしました。

このたび、カビの種類等につきまして、検査機関による分析結果が判明いたしましたので、お知らせいたします。

検査機関での分析内容は別紙のとおりです。分析の結果、代表的な空中浮遊菌であることが判明しましたが、多量に吸い込むことでアレルギーを引き起こす報告も寄せられているとのことです。お手元に、該当の「ウエットティッシュ」をお持ちの場合は、お使いにならず廃棄していただきますよう、あらためてお願い申し上げます。

お客さまにはご迷惑とご心配をおかけし、心からお詫び申し上げます。

今後このような事態が発生いたしませぬよう、細心の注意を払ってまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本件につきましてご不明な点などがございましたら、下記のお問い合わせ先にお申し付けくださいますよう、併せてお願い申し上げます。

記

お客さまからのお問い合わせ先
山梨中銀ダイレクトマーケティングセンター
フリーダイヤル 0120-201-862（照会コード：9）
受付時間：平日9：00～17：00

以 上

検査機関での分析内容について

試験依頼先 財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日 平成24年3月5日

試験成績書発行番号 第12013472001-02号

異物検査により以下の2種類のカビであることが判明しました。

以下の文章は財団法人日本食品分析センターによる試験成績書からの抜粋です。

1. *Cladosporium*

黒色真菌の一属で、集落は暗緑色～黒褐色を呈し、ピロード状となる。出芽型の分生子形成構造を有する。産生された分生子の先端から次々と分生子を産生し、分枝しながら連鎖する。分枝部はラモ型分生子となる。自然界に広く分布し、土壌、穀類、食品等から分離される。また、代表的な空中浮遊菌の一つである。

なお、調査した文献には、通常問題とされるマイコトキシン(カビ毒)産生能についての報告例は無かった。一方、本属のカビにはまれに肺菌球症、角膜真菌症等の原因菌となる種が知られている。個人差はあるものの、分生子を多量に吸い込むことにより、アレルギーを引き起こす種の報告もある。

2. *Alternaria*

生育は速く、集落は灰色～暗色を呈する。菌糸から分生子柄が伸び、その先端に小さな穴が開いてポロ(トレト)型分生子を形成する。分生子は褐色で、卵円形～倒棍棒形を示し、横、縦又は斜めの隔壁を有する。分生子は連鎖し、口ばし状突起を形成することもある。世界中に広く分布し、土壌、食品、植物、繊維等から分離される。また、代表的な空中浮遊菌の一つである。

本属にはマイコトキシン(カビ毒)としてテヌアゾン酸、アルタナリオール、アルタナリオールモノメチルエーテル等を産生する菌種があるが、それらのヒトに対する影響の詳細は不明である。なお、本属にはごくまれに日和見感染症の原因菌となる菌種がある。また、個人差はあるものの、分生子を多量に吸い込むことにより、アレルギーを引き起こす種の報告がある。

以上